

● 広 報
りくぜん

たかた

2016年(平成28年)

11月1日号

No.996



復興進む景色 ライダー快走

(9月25日、ツール・ド・三陸)



Pick Up

世界に誇れる美しい 「陸前高田」に向けて

— ノーマライゼーションという言葉のいないまちづくり —



(写真提供=㈱ミライロ)

上の二つの写真を見て考えてみてください。
左の写真の開き戸の場合、誰がどのようなことに困るでしょうか？
右の写真で、車いすを利用する人の階段移動をサポートするとき、
どのようにしたらより良いサポート方法になるでしょうか？

東日本大震災からの復興に当たり、陸前高田市が掲げた
「ノーマライゼーションという言葉のいないまちづくり」。
障害のある人もない人も、それぞれの立場を理解し、尊重し、認め合える
社会には、人々の交流が生まれ、笑顔や希望、活気が満ちあふれています。
豊かな自然だけでなく、そこに住む人たちの心や生き方までもが美しい—。
そんな世界に誇れる美しいまちの実現に向けた取り組みが始まっています。

CONTENTS_目次

- 2 **Takata夢追人** 瀧上明さん
- 3 **Pick Up**
世界に誇れる美しい「陸前高田」
に向けて
ノーマライゼーションという言葉のい
らないまちづくり
- 6 **市勢功労者表彰・叙勲受章**
- 8 **市役所からのHOT LINE**
まだ受診に間に合います各種健康診査と
がん検診
- 9 **健康だより**
介護お茶飲み話・保健だより
- 10 **生涯学習情報 はまらっせあ**
- 12 **地域話題**
ツール・ド・三陸サイクリングチャレン
ジ2016inりくぜんたかた・おおふなと／
地域おこし協力隊辞令交付式／「たかた
のゆめ」稲刈り式／常陸宮妃殿下が市を
ご訪問／市戦没者追悼式／秋の全国地域
安全運動パレード／熊野神社・八幡神社
式年大祭／箱根山イングリッシュ・テラ
ス・トーク／幼年消防フェスタ／全国太
鼓フェスティバル
- 16 **気仙風土記**
- 17 **慶弔・数字で見る陸前高田市**
- 18 **INFORMATION**
- 20 **食生活改善推進員のおすすめレシピ**

Takata 夢追人



地域に寄り添う活動続け
法律で復興を支援したい

10月3日から始動した「そらうみ法
律事務所陸前高田事務所」初代所長

瀧上 明さん

たきうえ・あきら 45歳 米崎町

◎ Profile

昭和46年兵庫県尼崎市生
まれ。平成17年弁護士登録。
23年7月には「震災復興を
めざす岩手はまゆり法律事
務所」(釜石市)を設立し、
3年間復興支援に携わった。
血液型A型のてんびん座。

再び岩手で働くことになり、
復興支援活動に携わること
ができて、やりがいを感じる—。
10月3日に開設された「そらう
み法律事務所陸前高田事務所」の
初代所長の瀧上明さんは力を込め
た。同事務所は、24年3月に日弁
連が設置した「いわて三陸ひまわ
り基金法律事務所」の運営を、所
長を務めた在間文康さんと瀧上さ
んを含む4人で新たな弁護士法人
を立ち上げて衣替えしたものだ。
瀧上さんは、18年から23年まで
釜石市の公設事務所初代所長を
務めた後、一度は東京で勤務する
も、震災を受け、23年7月には釜
石市に自ら事務所を構えて3年間



COVER STORY_今回の表紙

復興支援サイクリングイベント「ツ
ール・ド・三陸サイクリングチャレン
ジ2016inりくぜんたかた・おおふなと」
は9月25日、栃ヶ沢公園を発着点に開
かれ、国内外から約950人が復興の現状
や三陸の景色を見ながらサイクリング
を楽しみました。(関連記事12頁)



そらうみ法律事務所
陸前高田事務所
高田町字鳴石50-10
☎0192(47)3613

被災者と向き合った。この経験が
「自分が弁護士になつてしたかつ
たことを自覚できた」と振り返る。
「震災の影響はずっと残っている、
抱える問題は一人一人違う。本当
の復興には法律のフォローが必要
であり、息の長い支援をしていき
たい」と決意を語る瀧上さん。地
域に寄り添い、法律で市民を救う
身近な存在となるはずだ。

chapter 1

まちづくりに向けた市の取り組み 障がいのある人となない人 共に暮らす社会の実現へ

「ノーマライゼーション」とは、障がいのある人となない人が、特別に区別されることなく、社会生活を共にするのが望ましいという考え方です。市が目指す復興は、被災した施設や道路などの復旧だけでなく、誰もが快適に過ごせるまちづくりです。障がいがあっても安心して暮らし、ノーマライゼーションやバリアフリー（生活の支障となる物理的・精神的な障がいを取り除いた状態）を意識する必要さえない社会の実現に向け、「ノーマライゼーション」という言葉の知らないまちづくり」を掲げています。

ライゼーションという言葉の知らないまちづくりアクションプラン」を27年6月に策定。「防災、コミュニティ、情報共有、PR」教育、子育て「保健、医療、福祉、介護」産業、雇用、観光「建物、道路、公園、交通」の5つの分野ごとに、56のアクションを定めています。



まちづくりに向けた 陸前高田市の取り組み

① アクションプラン策定

まちづくりの指針となる「ノーマ

② 推進講演会・マスター研修

まちづくり推進のため、市職員の意識向上を目指して、(株)ミライロ代



受講者は自分とは違う誰かの視点に立ち、行動することを学びました

表取締役社長の垣内俊哉氏を講師に、推進講演会を8月3日に開催したほか、職員自身が講師を務め、協働の取り組みを積極的に進める人材を育成するマスター研修(全6回)を行っています。

③ ユニバーサルマナー検定

「ユニバーサルマナー検定」を8月20日、コミュニティホールで開催。(株)ミライロの岸田ひろ実さんを講師

に、講義や状況に応じた対応を話し合う演習問題を通して、高齢者や障がい者など向き合ったサポートやコミュニケーション方法を学び、受講者83人がマナー検定3級に認定されました(3ページに掲載した写真は演習問題の一例です)。

④ 公共施設のユニバーサルデザイン

道路だけでなく、中心市街地や復旧する野球場・サッカー場、復興祈念公園など、ハード面でユニバーサルデザイン(国籍、性別、年齢、障がいに関わらず、使いやすいサービスやモノ。以下、「UD」)に基づいた設計を取り入れるほか、ソフト面では働く人がユニバーサルマナーの実践、情報面では欲しい情報が必要な人に届くようにしていきます。

⑤ ユニバーサルデザイン チェックリスト

これから新しい市街地に出店する店舗がUDに取り組めるように、店舗内外の移動や、店舗内の利用の安全性と快適性の項目を定めた「ユニバーサルデザインチェックリスト」を作成しています。今後は、UDに配慮した店舗の認証制度を設定する予定です。

chapter 2

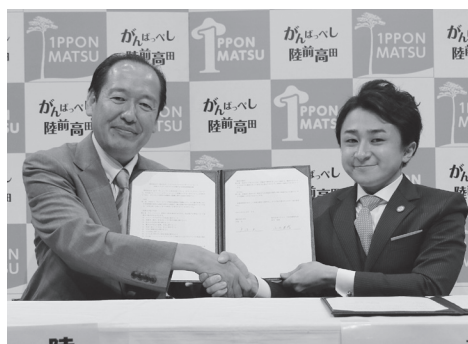
推進フォーラムを開催 全ての人が幸せになれる 唯一のまちへキックオフ

ノーマライゼーションという言葉の知らないまちづくり推進フォーラムは10月4日、コミュニティホールで開かれました。はじめに、市から「ユニバーサルデザインのまちづくり」について報告。「ノーマライゼーション」という言葉の知らないまちづくり」に向け取り組みを紹介しました。



350人が参加した推進フォーラム

続いて、戸羽太市長をはじめ、日本障害フォーラム幹事会議長の藤井克徳氏、(株)ミライロ代表取締役社長の垣内俊哉氏がそれぞれ講演。戸羽市長は「マイナスからまちをつくる陸前高田市だからこそ、市に住んでいる人や観光客などに市に関わる全ての人が今よりも幸せを感じられるような世界唯一のまちにしたい」と思いを語りました。全盲である藤井氏は「障がいの人ではなく社会にある。障がい者を区別するのではなく、当事者が参加して物事を決めていくことが大切」と述べ、自身も車いすで生活する垣内氏は「障がいを価値と考える『バリアバリュー』の視点でまちづくりを進め地域活性につなげたい。ハードはすぐに変えられなくても向き合う人たちのハートは変えられる。陸前高田がユニバーサルデザインで世界でも手本となるようなまちにしたい」と訴えました。



「ノーマライゼーションという言葉の知らないまちづくり」に関する包括的連携協定を結んだ戸羽太市長と垣内俊哉(株)ミライロ代表取締役社長(右)

この日は、藤井氏と画家の田崎飛鳥さん(横田町)が「ノーマライゼーション大使」に委嘱されたほか、市と(株)ミライロの連携協定締結式も行われ、「ノーマライゼーション」という言葉の知らないまちづくりへのキックオフとなった今回のフォーラム。350人の参加者は、まちづくりに理解を深め、一人一人ができることを考える一日となりました。



推進フォーラムで委嘱状を受ける田崎飛鳥さん(右)

市の取り組みを全国に発信 ノーマライゼーション大使

市は、「ノーマライゼーション」という言葉の知らないまちづくりに賛同する著名人などに、「ノーマライゼーション大使」を委嘱しています。現在の同大使は次のとおりです(敬称略、予定者含む)。

- ▼今井絵里子(歌手、女優、参議院議員)
- ▼藤井克徳(日本障害フォーラム幹事会議長)
- ▼田崎飛鳥(画家)
- ▼加納慎太郎(車いすフェンシングアスリート)
- ▼岩室純也(ヘルスプロモーション推進センター・オフィスイわむろ代表)

平成28年市勢功労者

市の発展に 長年の功績 8人を表彰

陸前高田市の発展のため、長年貢献した市民や団体などの功績をたたえる市勢功労者表彰。今年の市勢功労者が決まりました（表彰式は11月4日にキャピタルホテル1000で行われます）。

自治功労 (市議会議員)



しみずゆきお
故清水幸男さん(享年70)
広田町(六ヶ浦)

平成19年から28年までの3期9年間にわたり市議会議員を務めました。23年から産業建設常任委員長、27年からは監査委員も歴任し、市勢発展に尽力しました。

自治功労(区長)



とばてるお
戸羽照夫さん(75)
小友町(谷地館)

平成13年から28年までの15年間にわたり小友町第6区区長を務めました。24年からは市区長会会長に就任し、行政連絡事務や地域振興などに尽力しました。

自治功労 (コミュニティ)



まつだつねお
松田恒雄さん(69)
横田町(舞出)

平成20年から27年まで横田地区コミュニティ推進協議会会長を務めました。21年からは市コミュニティ推進協議会連合会監事も歴任し、市政発展に尽力しました。

教育文化功労 (社会教育)



さきみよこ
佐々木美代子さん(75)
横田町(袋沢)

平成23年から28年まで市地域女性団体協議会会長を務めました。地域社会の発展に寄与するとともに、災害時の女性の役割と防災意識の高揚に努めました。

教育文化功労 (体育文化)



おいかわくにお
及川邦夫さん(77)
高田町(中和野)

昭和59年から現在までスポーツ推進委員を務めています。スポーツ振興のために指導助言を行うなど、地域の社会体育の振興に貢献しています。

民生功労(医療)



よしざわ ひろし
吉澤 熙さん(80)
小友町(鳥越)

昭和60年から現在まで鳥羽医院で地域医療を推進しています。また、市内小中学校の学校医も務め、児童生徒の健康増進に寄与しています。

治安功労(消防)



さとうたかお
佐藤隆雄さん(59)
矢作町(清水川)

昭和55年に消防団入団以来、35年間にわたり消防業務に精励しました。平成24年から矢作分団長を務め、団員の指導育成や地域住民の防火思想の普及に尽力しました。

旭日単光章 (中小企業振興功労)



あべかつや
阿部勝也さん(75)
米崎町(地竹沢)

平成5年から27年まで22年間にわたり陸前高田商工会の役員を歴任しました。18年から陸前高田商工会長を務め、商工業の発展と地域振興に貢献しました。

瑞宝単光章 (統計調査功労)



さいじょうぜんばち
西條善八さん(80)
広田町(久保)

昭和35年から平成28年まで56年間にわたり統計調査員を務めました。国勢調査をはじめとするさまざまな調査に従事し、地域社会の振興に貢献しました。

治安功労(消防)



いとうやすお
伊藤康夫さん(60)
横田町(袋沢)

昭和55年に消防団入団以来、30年間にわたり消防業務に精励しました。平成21年から横田分団長を務め、組織の充実強化や地域住民の防火思想の普及に尽力しました。

旭日双光章 (地方自治功労)



ふじいきちろう
藤井喜八郎さん(87)
広田町(中沢)

昭和62年から平成15年まで4期16年間にわたり市議会議員を務めました。平成7年から産業経済常任委員長を歴任し、市勢の発展に貢献しました。

瑞宝単光章 (消防功労)



かんのとしお
菅野利夫さん(78)
気仙町(町)

昭和34年に入団以来、平成7年まで36年間にわたり消防団活動に励みしました。平成5年から気仙分団長を務め、団員の指導育成に貢献しました。

瑞宝双光章 (鉄道業務功労)



かんのよしふみ
菅野善文さん(65)
竹駒町(仲の沢)

昭和46年に京浜急行電鉄(株)に入社後、40年近くにわたり安全・安心輸送に徹しました。京急ステーションサービス品川駅長を歴任し、鉄道事業の発展に貢献しました。

地域包括
支援センター発！

介護お茶のみ話

その25

健康長寿に大切な
社会とのつながり

前回、健康長寿の心得7カ条を掲載しましたが、今回は「社会とのつながり」の視点から紹介します。

健康で幸福な人生を送るには社会とのつながりが関係する

これまでの調査では、高齢になると努力して維持しなければ筋力が減っていくということでしたが、平成24年の東京大学高齢社会総合研究機構調査で、筋力が減少する最も大きな原因は社会性であることが分かりました。

社会とのつながりがなくなると生活範囲が狭くなり、話し相手が少なくなること、口の周りの筋力が低下し、栄養状態が衰えて体が動かなくなるということです。

また、ハーバード大学で75年間にわたり724人の男性の追跡調査した結果では、「家族や友人、地域とつながりがある人ほど幸せかつ健康で長生きする」「50代で幸せな人間関係にいた人が80代になって



社会とのつながりの維持には介護予防教室を活用ください

も健康で幸せだった」「良い人間関係は、体の健康だけでなく脳も守り記憶がはっきりしている」という結果が出ており、社会とのつながりと健康度、幸福度は関係しているのが分かります。

まずは用事を作って出かける

近所の仲間たちとの集いやラジオ体操、カラオケ、グラウンドゴルフ、散歩なども十分社会性の維持に役立ちます。きっかけづくりに市で開催している介護予防教室を活用してください。

◆問い合わせ先：市地域包括支援センター（市役所保健課 包括支援係・内線247）

まだ受診に間に合います
各種健康診査とがん検診

◆問い合わせ先…保健課保健係（内線241・243）

市は、特定健康診査・高齢者健康診査・被災者健康診査とがん検診（後期）を下の表のとおり行います。

◆実施する健診（検診）…①被災者健康診査②若年者健康診査③特定健康診査④高齢者健康診査⑤肺がん検診（X線撮影、喀痰検査）⑥肝炎ウイルス検診⑦前立腺がん検診⑧大腸がん検診⑨結核検診

※対象者や受診料は広報りくぜんたかたNo.992（9月1日号）で確認ください。

◆健診（検診）日程…下の表のとおり

期日	場所	受付時間	対象行政区
11月21日(月)	小友地区 コミュニティセンター	午前9時半～11時	小友町1・2区
		午後1時～2時半	小友町3区甲、財当地区仮設住宅
11月22日(火)		午前9時半～11時	小友町3区乙、4区
		午後1時～2時半	小友町5区、広田町14区
11月24日(木)		午前9時半～11時	小友町6・7区
		午後1時～2時半	小友町8区、広田町15区
11月25日(金)	喜多公民館	午前9時半～11時	広田町1区、広田小学校仮設住宅
		午後1時～2時半	広田町2区
11月26日(土)		午前9時半～11時	広田町3～5区
		午後1時～2時半	広田町6・7区
11月28日(月)		午前9時半～11時	広田町9区
		午後1時～2時半	広田町8・10区
11月29日(火)		午前9時半～11時	広田町11～13区
		午後1時～2時半	旧広田水産高校仮設住宅
11月30日(水)	米崎地区 コミュニティセンター	午前9時半～11時	米崎町1区甲・乙、高畑地区仮設住宅
		午後1時～2時半	米崎町2・3区、佐野地区仮設住宅
12月1日(木)		午前9時半～11時	米崎町4区甲・乙
		午後1時～2時半	米崎町6区甲・乙
12月2日(金)		午前9時半～11時	米崎町7区、米崎小学校・米崎中学校仮設住宅
		午後1時～2時半	米崎町5区乙
12月4日(日)	コミュニティホール	午前9時半～11時	米崎町8区甲・乙、和野・西風道地区仮設住宅
		午後1時～2時半	米崎町9・10区、和方・堂の前地区仮設住宅
12月5日(月)		午前9時半～11時	高田町1区甲、第一中学校仮設住宅
		午後1時～2時半	高田町1区乙
12月6日(火)		午前9時半～11時	高田町6・11区
		午後1時～2時半	高田町12区甲
12月7日(水)		午前9時半～11時	高田町12区乙、中和野・西和野地区仮設住宅、高台2
		午後1時～2時半	高田町14区、高田高校仮設住宅、県営栃ヶ沢アパート
12月8日(木)		午前9時半～11時	高田町15区
		午後1時～2時半	市営住宅中田団地、太田地区・サンビレッジ仮設住宅
12月11日(日)		午前9時半～11時	広田・小友・米崎・高田町に住んでいる人で、指定日に受診できない人
		午後1時～2時半	
12月12日(月)		午前9時半～11時	市営住宅下和野団地、栃ヶ沢・大隅地区仮設住宅
		午後1時～2時半	高田町17区
12月13日(火)		午前9時半～11時	指定日に受診できなかった人
		午後1時～2時半	

保健
だより

417

HIV感染とエイズ

エイズは、免疫力を低下させてしまう「ヒト免疫不全ウイルス（以下、「HIV」）に感染し、十年以内で免疫機能が壊され、日頃かかることのないさまざまな病気が発症する状態です。現在、HIV感染症を治す薬はありませんが、適切な治療でエイズの発症を抑えることができます。

日本で平成26年に新たにHIV感染やエイズを発症した人は約1500人。国内累計は約2万4500人に上っており、とても身近な病気です。

●HIVの感染ルートと予防

①性的接触 感染者の約9割がHIV感染者との性行為で感染します。コンドームの正しい使用で予防できます。

②血液を介して 麻薬の「まし打ち」などで感染することから、麻薬も注射器の共用も絶対しないことが大切です。

③母親から赤ちゃんへ HIV感染者の母親から感染する場合もありますが、投薬治療や帝王切開による出産などで感染を抑えることができます。

感染が心配な場合は、保健所で無料・匿名で検査を受けることができます。

●エイズ文化フォーラム開催

市は、全ての人間がHIVやエイズに関わりを持ちながら、日常生活や社会的活動を行っている「文化」の側面から考える「エイズ文化フォーラムin陸前高田」を開催します。一人一人ができることを考えてみませんか。入場は無料です。

◆日時：11月20日(日)、午後1時～3時半

◆場所：コミュニティホール

◆問い合わせ先：市役所保健課保健係（内線244）

修復されよみがえった文化財を紹介 展覧会とシンポジウムを開催します

東日本大震災で被災し、再生作業が行われている市の貴重な文化財。修復されよみがえった資料は全国で巡回展示されていましたが、陸前高田市でも展覧会とシンポジウムを開催します。

今後期待される市立博物館の再生や、まちの復興の糧となる文化財「陸前高田のたからもの」を見ることができます。どちらも入場は無料です。

【展覧会・「ずっとずっと ふるさと陸前高田一心に生きる「たからもの」】

- ◆日時…11月26日(土)～12月5日(月)、午前9時～午後5時
- ◆場所…コミュニティホール
- 【シンポジウム・よみがえる文化財と博物館の復興】
- ◆日時…11月27日(日)、午前10時～午後3時
- ◆場所…コミュニティホール
- ◆問い合わせ先…市立博物館 ☎0192(58)2203



展示される「陸前高田のたからもの」の一部

文化財ニュース

指定文化財紹介② ～青松島～



広田半島の南端広田崎の東南約300mの洋上に浮かぶ青松島は、岸青松島、沖青松島の2つ島と星の下と呼ばれる周辺の岩礁群からなり、全島花こう岩でできています。青い海と緑のマツのコントラストの美しさと、トベラの本州太平洋側での北限分布地であることから、昭和44年に県指定文化財（名勝・天然記念物）となりました。

近年、松くい虫の影響で景観がかなり変化しましたが、市教育委員会は、樹幹注入によるマツ本体の強化や文化財保護委員による巡視を行い、美しい青松島を保存する活動を進めています。

◆問い合わせ先…市教育委員会生涯学習課生涯学習係(内線262)



冬の運動不足解消に

太極拳教室の参加者を募集

市教育委員会は、太極拳教室を開講します。

太極拳は中国に伝わる武術で、ゆったりとした動きから誰でも楽しむことができます。冬の運動不足解消と健康維持に参加してみませんか。



- ◆日時…来年1月17日～3月7日の毎週火曜日、午後7時～8時45分(全8回)
- ◆場所…コミュニティホール
- ◆対象…中学生以上(中学生と高校生は保護者の承諾が必要です)
- ◆持ち物…室内用運動靴、タオル、飲み物
- ◆定員…先着30人
- ◆参加料…600円(参加料を添えて申し込みください)
- ◆申込期間…11月14日(月)～12月22日(木)
- ◆申し込み・問い合わせ先…市教育委員会生涯学習課スポーツ推進係(内線252)

Library

図書館情報

☎0192(54)3227

今後の図書館利用

新図書館の開館に向けた蔵書整備に伴い、利用については下の表のとおりとなります。ご協力をお願いします。

	11月30日まで	12月1日～28日	来年1月4日から
開館時間	午前9時～午後5時 休館日＝月曜日、祝日、月末休館日(11月30日)		午後0時半～4時 休館日＝月曜日、祝日
本の閲覧 貸し出し	通常どおり		休止
移動図書館	運行(返却のみ)		休止
資料	予約	通常どおり	来館と電話のみ受け付け
	貸し出し	通常どおり(来年1月11日までに返却ください)	
	閲覧	通常どおり	
			新聞、雑誌(一部)のみ可能



参加者は鎌を使い一生懸命稲を刈り取りました

「たかたのゆめ」稲刈り式

豊かな実りに感謝して刈り取り

市のブランド米「たかたのゆめ」^{しらかわしゅういち}稲刈り式は10月2日、川の駅よこた周辺の白川周一さん(67)＝横田町＝の田んぼほかで行われました。

生産者や地元の子どもたち、支援企業の関係者など約120人が参加。5月29日に田植えをしてから育った稲を一株ずつ鎌で刈り取りました。田村悠真くん(高田小3年)は「自分が田植えをして育った稲を刈り取りできてうれしかった」と収穫の喜びを実感していました。

常陸宮妃殿下が市をご訪問

陸前高田の復興状況などを視察

常陸宮妃殿下は10月7日、陸前高田市を訪れ、市の復興状況を視察されました。

希望郷いわて国体のご臨席のため岩手県に訪れたもので、この日は災害公営住宅下和野団地で屋上から復興状況などを視察。出迎えた住民に「寒くなってきたので、お体に気を付けてください」と声を掛けられていました。続いて、東日本大震災追悼施設で震災の犠牲者をしのんで献花されたほか、復興まちづくり情報館を見学されました。



災害公営住宅下和野団地の屋上からの景色を見ながら戸羽太市長からの説明を受ける常陸宮妃殿下



祭壇の前で追悼の祈りを込めながら献花する参列者

市戦没者追悼式

恒久平和と不戦への誓い新たに

市戦没者追悼式は10月12日、コミュニティホールで開かれました。

式典には遺族をはじめ約250人が参列。全員で黙とうをしたほか、上部修一市遺族会会長は「戦争の悲惨さと平和の尊さを次の世代に伝え、豊かな郷土づくりにまい進する」と追悼の言葉を述べました。

日中戦争から太平洋戦争までで亡くなった市出身者は963人に上ります。参列者は祭壇に献花し、戦没者の冥福を祈り恒久平和の誓いを新たにしました。



(上)記念すべき5回目となる今回は約950人が参加しました
(中)沿道からの声援を受け栃ヶ沢公園をスタートする参加者
(下)エイドステーションでは蒸しがきも振る舞われました

ツール・ド・三陸サイクリングチャレンジ2016

復興の現状と絶景自転車で体感

復興支援サイクルイベント「ツール・ド・三陸サイクリングチャレンジ2016inりくぜんたかた・おおふなと」(同実行委員会主催)は9月25日、栃ヶ沢公園を発着点に開かれました。

5回目となる今回は、これまでの「ファミリーコース」(25.2^{キロ})「健脚(A／B)コース」(49.8^{キロ})「健脚マウンテンコース」(51.8^{キロ})に加え、最大標高差474^{メートル}で上級者向けの「剛脚もののけコース」(64.5^{キロ})を新設し、計5コースで実施。国内外から約950人が参加しました。

参加者は、復興の現状や三陸の景色を見ながら沿道で声援を送る地域の人たちと記念撮影をするなど交流したり、コースの途中に設置されたエイドステーションと呼ばれる休憩所で振る舞われた蒸しがきやおやきなどに舌鼓を打ったりするなどして、サイクリングを満喫しました。

健脚Aコースを走った福原康久さん(51)・レイ子さん(51)夫妻＝東京都＝は「今年で4回目の参加。毎年変わる景色を見るのが楽しみ。体力が続く限り参加し続け、復興が進む姿を見続けたい」と話し、ゲストライダーで10月に開催された世界選手権ロードレース大会に日本代表として出場した別府史之選手は「初めて参加し、被災地の姿をやっとこの目で確かめることができた。これからも立ち止まらず自転車を通して復興支援を発信していきたい」と力強く語りました。

地域おこし協力隊辞令交付式

自伐型林業の推進に“新しい力”

地域おこし協力隊辞令交付式は10月3日、市役所で行われ、北海道恵庭市出身の坂口恵美さん(38)が新たに地域おこし協力隊員に加わりました。

市役所農林課に配属され、市が進める「自伐型林業」の推進に向けて、林業再生や市内の森林整備、森林資源の活用の仕組みづくりなどに取り組む坂口さん。「林業は楽しい、誰でも関わることができることを伝えたい。資源の活用で森林アスレチックをつくる如果能够できれば」と意欲を語りました。



戸羽太市長から辞令を受ける坂口恵美さん



園児たちは消防車両の綱引きも体験しました

幼年消防フェスタ

体験を通じて防火や防災を学ぶ

幼年消防フェスタは10月12日、消防防災センターで開かれました。

震災前まで行われていた幼年消防大会を復活させたもので市内の園児約110人が参加。防火衣を着ての放水や、消防車や救急車の乗車、煙が充満した部屋などを体験したほか、消防署員の救助訓練を見学して消防活動に触れました。広田保育園の白井万葉ちゃん(5)は「消防車に乗れて楽しかった。将来は消防団員になりたい」と話していました。

秋の全国地域安全運動パレード

みんなで作る安心・安全なまち

10月11日から20日までの秋の全国地域安全運動に合わせて10月13日、市防犯協会連合会によるパレードが行われました。

コミュニティホールで行われた出発式で同連合会長の戸羽太市長は「年末に向けて、犯罪被害防止につながる呼び掛けをしてもらいたい」とあいさつ。その後、パトカーや青色防犯パトロール車は市内を巡回し、イオンスーパーセンター陸前高田店ではチラシを配るなどして啓発活動を行いました。



安心・安全なまちづくり向けパレードに出発する関係車両

全国太鼓フェスティバル

鳴り響く熱き鼓動会場包み込む

全国太鼓フェスティバル(同実行委員会主催)は10月16日、第一中学校体育館で開かれました。

同フェスティバルは、「いのちは、鼓動からはじまる」をキャッチフレーズに平成元年に産声を上げ、「太鼓の甲子園」として全国の太鼓ファンに定着しているものです。

今年は、地元の気仙町けんか七夕保存会をはじめ、大船渡東高校太鼓部、和太鼓日本一決定戦でジュニア日本一の経験がある田島太鼓龍巳会「白鼓」(福島県南会津町)、豊の国ゆふいん源流太鼓(大分県由布市)など全国から9団体が出演。太鼓の“聖地”陸前高田で、躍動感ある息の合ったパフォーマンスを披露し、会場は熱気に包まれました。

前売りの「入場手形」は完売し、この日は約500人が来場。響き渡る威勢の良い掛け声と鼓動一打一打を真剣なまなざしで見つめ、演奏後は惜しめない拍手を送っていました。

齊藤祥子さん(73)=広田町=は「震災後初めて見に来て、迫力のある演奏に勇気をもらった。また来年も見に来たい」と話し、震災後、初めて同フェスティバルに出演した愛宕陣太鼓連響風組(福島県福島市)会長の齋藤通夫さん(61)は、「太鼓打ちとして陸前高田の太鼓フェスティバルに育ててもらったと思っているので、またここで演奏できてうれしい。伝統のある素晴らしいイベントに誇りを持って、これからも継承してもらいたい」と期待を込めました。



(上)オープニングを飾った大船渡東高校太鼓部
(中)震災後、初めて出演した愛宕陣太鼓連響風組
(下)フェスティバルのトリを務めた「豊の国ゆふいん源流太鼓」



(左)子どもたちも才坊振りで祭りを盛り上げました(小友町)
(右)水の冷たい気仙川でみこしを清める担ぎ手たち(横田町)

熊野神社・八幡神社式年大祭

待望の開催に地域の笑顔広がる

横田町の熊野神社と小友町の八幡神社の式年大祭は10月9日、両神社などでそれぞれ行われました。

東日本大震災の影響で、熊野神社は10年ぶり、八幡神社は8年ぶりに開催。熊野神社の神輿渡御行列では、気仙川河川敷まで約1.5kmを練り歩き、みこしを水で清める神事や舞出鹿踊りが奉納されました。八幡神社の奉納演武では、各祭組ごとに練習を重ねてきた権現舞や虎舞などがにぎやかに披露され、多くの地域住民が華やかな舞を楽しみました。

箱根山イングリッシュ・テラス・トーク

おいしい話を英語で触れる時間

「箱根山イングリッシュ・テラス・トーク」は10月21日、箱根山テラスで開かれました。

市民ら8人が参加。ウェールズ出身の振付師でダンサーのショーネッド・ヒューズさん(住田町在住)が講師を務め、「私のお気に入りの秋と冬の食べ物」をテーマに、カフェトークスタイルで英語に触れるひとときを過ごしました。参加者は「ふだん使っている料理の作り方や食材の表現の英語を覚えることができた」と笑顔を見せました。



英語を身近に感じることができる空間で会話を楽しむ参加者

慶 弔(9月16日～10月15日届け出分)

※届け出人が希望した人のみ掲載

◇おめでた()は保護者・字名

◎男の子

矢作 八重樫 とうや 橙哉 (武・神明前)

◎女の子

気仙 田中 れい 滯 (航大・要谷)

よしだ りこ 湊子 (義文・古谷)

米崎 菅野 ここな 心結 (貴大・川西)

小友 よしだ ひまり (徹・宮崎)

◇お幸せに()は字名

竹駒 くまがいしょう ごとう 熊谷翔・後藤あずさ (仲の沢)

気仙 かんのだつや いしかわともみ 菅野辰也・石川智美 (水上)

高田 たかはしあきら つかだひろみ 高橋昭・塚田博美 (中田)

小友 さとうみ さき さとうのぞみ 佐藤実沙樹・佐藤希美 (西下)

広田 うすいやすあき こんのさおり 白井康暁・紺野沙織 (岩倉)

◇おくやみ()は年齢・字名

矢作 すずき せいき 鈴木 清喜 (88歳・清水川)

竹駒 いたばやし フミ 板林 フミ (96歳・下壺)

くまがい トミ 熊谷 トミ (90歳・仲の沢)

気仙 かんの えいいち 菅野 榮一 (92歳・水上)

ひとかべ ゆきお 人首 行雄 (79歳・月山)

高田 うわべ ミヤノ 上部 ミヤノ (89歳・大石)

ちば たつひろ 千葉 達博 (72歳・大隅)

むらかみ てつろう 村上 哲郎 (79歳・鳴石)

うのうら たか こ 鶴浦 多賀子 (83歳・鳴石)

おおさわ イワミ 大澤 イワミ (100歳・大隅)

広田 くまがい けいいち 熊谷 敬一 (74歳・越田)

さとう ただお 佐藤 忠夫 (82歳・羽根穴)

はたけやま ゆうこ 畠山 優子 (90歳・六ヶ浦)

おおとも しょういち 大友 昭一 (74歳・根岬)

おおわだ かつや 大和田 勝也 (43歳・大陽)

数字で見る陸前高田市(平成28年9月30日現在)

市内の火災救急活動 ()は1月からの累計

◆建物	0件 (2件)
◆林野など	0件 (2件)
◆出動件数	67件 (623件)
◆搬送人員	63人 (600人)

市の人口(住民登録人口) ()は前月比

男性	9,650人 (－ 8)
女性	10,281人 (－ 5)
計	19,931人 (－ 13)
※昨年9月31日現在との比較(－277)	
世帯数	7,601世帯 (－ 5)

市内の交通事故(大船渡警察署調べ) ()は1月からの累計

◆人身事故	3件 (16件)
◆物損事故	42件 (254件)
◆負傷者	6人 (21人)
◆死亡者	0人 (1人)
◆飲酒運転	2人 (3人)



(638)

地名と歴史

― 気仙郡⑨ ―

(135)

斎金 藤野 静一・文責
多美子・挿絵

「和名抄」という地名などに
関する古書があります。わが
国で初めて作成された分類
百科事典で、承平年間(93
1～938)に源順が編纂し
たものです。

この中に、気仙郡について
「気仙」「気前」「大島の三つの
郷から成っていることが記さ
れています。三つの郷がどこ
にあり、どの位の広さかとい
うことは気仙では昔からの話
題になっていました。

ところが、明治時代後期に
出版された「大日本地名辞典」
では、今の陸前高田、大船渡、
住田町世田米あたりの旧気仙
郡の西南部が「気仙」、「大島」
はかつての奥濱4力村(現在
の旧三陸町、釜石市唐丹町)

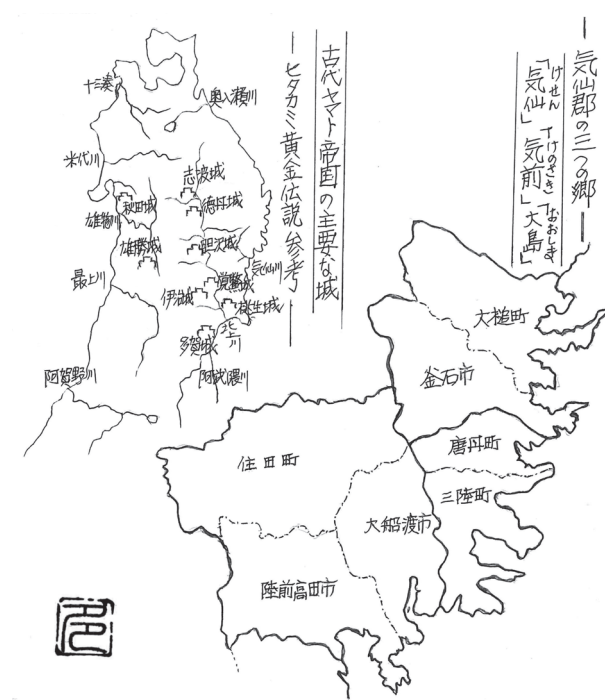
あたり、そして「気前」は、今
の上閉伊郡大槌、釜石にまた
がる地域としています。この
辞書はどのような資料による
ものかは不明ですが、ここで
大事なことを忘れてはいない
かという思いがします。

当時の「郷」は、50戸が編成
の単位であり、「気仙」「気前」
「大島の三郷では150戸と
なであったことから、気仙郡
から釜石にかけての広大な地
域をどのようにカバーしたか
が問題となるのです。当時、
海岸部のことを「閉村の蝦夷」
と呼んでいました。この三郷
にも、閉村の蝦夷は居住して
いたでしょう。

このような異なる部族が入
り混じって不安定な地域

を形成していたのでしょうか。
不安定な地域にわずか150
戸の開拓民がどのような散居
生活をしていただのでしょうか。
歴史の諸士が後世における郡
や郷といった姿から気仙の様
子を推定した結果がこのよう
な結論になったものと思われ
ます。

郷は後に村落になりますが、
陸奥国や出羽国の北半分は新
占領地域に当たります。他に
比べて開拓民が送り込まれた
地域も少なくありません。例
を挙げれば、「胆沢城」「志波
城」「徳丹城」などの城柵は明
らかに辺地の軍事や行政の中
心となった箇所です。このよ
うに考えると、大日本地名辞
典の内容も少々考え直さなけ
ればならないと思います。



宮城県には延喜式内社の
「計仙麻大島神社」と「計仙麻
神社」があります。気仙とい
う地名は、計仙麻の「麻」を略
したものと吉田博士の主張
です。「ケセマ」は蝦夷語の「ケ
セモイ」の発音がなまったも
ので、ケセ(ケシユ)は小さい
湾を意味し、北見(北海道)
の「ケセオマイ」は端にある川
の意味であるとすれば、「ケセ
マ」は蝦夷族から言えば「蝦
夷地終点の湾」から生じた地
名だということです。吉田博士
衣によれば、気仙郡が置かれ
る前は桃生郡が大和族と蝦夷
族の境として、今の気仙沼湾、
すなわち「ケセモイ」は王地と
の境で終点であると論じてい
ます。

宮城県指定有形文化財でも
ある「奥羽鏡蹟聞老志」という
史書や「神祇史」には気仙郡の
三社(理訓許段・登奈孝志・
衣太手神社)のことも含めて
説明があります。気仙郡名に
も関わることで、その大
要を説明したいと思います。



開催します

子育てを応援します

ママサロン

こそだてシップ

こそだてシップでは、妊婦、1歳未満の赤ちゃんとその保護者を対象に、「ママサロンこそだてシップ」を開催します。

◆日時：11月18日(金)、午前10時～午後3時

◆場所：米崎地区コミュニティセンター

◆内容：ママのリフレッシュ手芸

◆参加料：500円

◆問い合わせ先：こそだてシップ(すくすくルーム) ☎0192(47)5689

おやこの広場きらりんきつず きらりんパパー

おやこの広場きらりんきつずでは、きらりんパパー「焼き芋&食べること何でも悩み解決相談」を開催します。参加は無料ですが、事前申し込みが必要です。

◆日時：11月13日(日)、午前10時～正午

◆場所・申し込み・問い合わせ先：おやこの広場きらりんきつず ☎0192(47)3908

ハッサン・モアタズ&末永匡 デュオコンサート

世界を舞台に活躍するエジプト人チェリストのハッサン・モアタズ氏とピアノリストの末永匡氏のデュオコンサートを開催します。入場は無料です。

◆日時：11月16日(水)、午後6時半～(午後6時開場)

◆場所：コミュニティホール

◆問い合わせ先：陸前高田「エジプトの会」 ☎0192(55)3746

みちのく潮風トレイル

開通目前・黒崎仙峡 秋風ウォーキング

市観光物産協会では、小学生以上を対象に「みちのく潮風トレイル開通目前・黒崎仙峡秋風ウォーキング」を開催します(小学生は保護者同伴)。

◆日時：11月20日(日)、午前8時半～午後0時半

◆場所：黒崎仙峡を訪ねるみち(六ヶ浦漁港～黒崎仙峡温泉)

◆定員：先着20人

◆参加料：100円

◆申込期限：11月16日(水)

◆申し込み・問い合わせ先：市観光物産協会 ☎0192(54)5011

楽しくおしゃべり健康のもと 認知症カフェ

認知症にやさしい地域支援の会では、介護の悩み相談のほか、認知症予防の運動、認知症について学ぶ「認知症カフェ」を開催します。

◆日時：11月24日(木)、午後1時半～3時半

◆日時：12月3日(土)、午後1時～4時半
◆場所：コミュニティホール
◆申し込み・問い合わせ先：日本フラワードesigner協会 ☎03(5420)8741

お知らせ

11月9日～15日は

秋の全国火災予防運動

11月9日(火)から15日(水)まで「消しましょう その火その時 その場所で」を統一標語に、秋の全国火災予防運動が

◆場所：コミュニティホール
◆問い合わせ先：認知症にやさしい地域支援の会(菅野) ☎0192(54)4529

岩手弁護士会

高齢者・障がい者
なんでも110番

岩手弁護士会では、高齢者や障がい者とその家族などからの相談に無料で応じる「高齢者・障がい者なんでも110番」を開催します。

◆日時：11月16日(水)、午後1時～5時

◆場所：県福祉総合相談センター(盛岡市)

◆相談電話：☎019(625)0110

◆問い合わせ先：東海林法律事務所 ☎019(623)9511

年金手帳をお忘れなく

国民年金保険料 納付年相談会

一関年金事務所では、国民年金保険料納付相談会を開催します。

行われます。11月は空気が乾燥し、火災が発生しやすい季節です。火の取り扱いには十分注意し、大切な生命や財産を火災から守りましょう。

◆問い合わせ先：市消防署 ☎0192(54)2119

11月11日～17日は

税を考える週間

11月11日(金)から17日(木)までは「税を考える週間」です。今年のテーマは「くらしを支える税」。この機会に家庭や職場などで、私たちの暮らしと税について考えてみませんか。※小学生の税に関する作品展を開催

◆日時：11月14日(日)、午後1時～21日(月)、午後1時

◆場所：コミュニティホール

◆問い合わせ先：大船渡税務署 ☎0192(26)3481

土砂災害防止法に基づいて

危険箇所の調査を実施

県では、がけ崩れや土石流などの土砂災害が発生するおそれのある箇所の調査(土地

◆日時：11月17日(木)、午前11時～午後3時
◆場所：市役所(4号棟)
◆問い合わせ先：一関年金事務所 ☎0191(23)4246

身体障がい者を対象とした 補装具の巡回相談

県では、義肢や装具など補装具の製作や修理、適合に関する巡回相談を行います。

◆日時：12月2日(金)、午前10時半～午後1時半(受け付けは午前11時まで)

◆場所：大船渡地区合同庁舎

◆申込期限：11月22日(火)

◆申し込み・問い合わせ先：市役所地域福祉課障がい福祉係(内線204)

市内の事業者を対象とした 年末調整説明会

大船渡税務署では、28年分年末調整説明会を開催します。

◆日時：11月24日(木)、①午前10時～正午 ②午後1時半～3時半(受け付けはそれぞれ30分前)

利用状況や地形地質状況など)を実施します。県が発行した身分証明書を携帯した調査員が皆さんの土地に立ち入ることがありますので、ご協力をお願いします。

◆期間：12月26日(月)まで
◆対象地区：横田町
◆問い合わせ先：大船渡土木センター 河川港湾課 ☎0192(27)9919

販売受け付け中です

県民手帳・能率手帳

市は、平成29年版の岩手県民手帳と岩手能率手帳を販売しています(本年度から農業日誌、ファミリー日誌、新農家暦は、市で販売のあつせんを行います)。

◆販売料金：①岩手県民手帳 700円 ②岩手能率手帳 800円

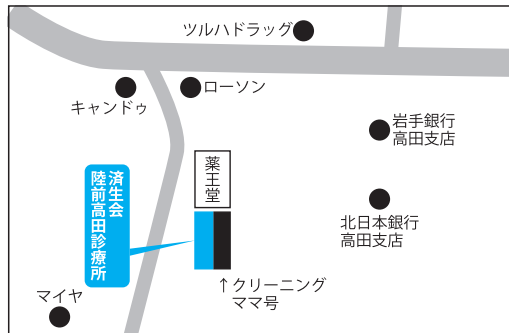
◆販売期間：29年1月20日(金)まで

※イオンスーパーセンター陸前高田店でも販売中です。

◆販売受け付け・問い合わせ先：市役所まちづくり戦略室(内線346)

済生会陸前高田診療所の診療日程

- ◆診療科目…内科、整形外科(金曜日のみ、第5週目は木曜日)
- ◆診療(受付)時間…午前8時半～11時、午後1時～4時
- ◆休診日…水・土曜日午後、日曜日、祝日 ※訪問診療も行っています。



◆問い合わせ先…済生会陸前高田診療所 ☎0192(22)7515

鵜浦医院皮膚科の診療日程

期 日	受付時間
11月21日(月)・22日(火) 12月5日(月)・6日(火) 19日(月)・20日(火)	午前8時～11時半 午後2時～5時半

◆問い合わせ先…鵜浦医院 ☎0192(55)2125

食生活改善推進員
のすすめレシピ

サケとひじきの香り混ぜご飯



材 料(4人分)

生サケ……………2切れ
塩……………少々(1g以下)
水……………大さじ2
ひじき(乾燥)……………6g
ニンジン…………… $\frac{1}{4}$ 本
大葉……………8枚
めんつゆ(3倍濃縮)…大さじ1
白ごま……………小さじ2
米……………1.5合

作 り 方

- ① 塩と水を混ぜ合わせ塩水を作り、サケを浸して冷蔵庫で1時間半程度置く(ビニール袋を使うと満遍なく下味を付けることができる)。
- ② ①の余分な水気をキッチンペーパーでふき取って焼く。
- ③ ひじきは水で戻しておく。
- ④ ニンジンは千切りにして電子レンジで1分半程度加熱する(または鍋でゆでる)。
- ⑤ 大葉は千切りにする。
- ⑥ 温かいご飯に身をほぐした②と③④⑤、めんつゆ、白ごまを混ぜ合わせて完成。

魚には振り塩よりも塩水で塩分カット

魚を塩焼きするときは、塩を振るよりも塩水に浸すことでムラなく均一にからまり、少ない量でも満足できる味になります。臭みが気になる場合は、おろしショウガを塩水に少量加えてみてください。また、ごまや青じその香りでうま味を生かすことも減塩のコツです。寒さが一層増してきた11月は気温の変化で血圧も上がりやすくなってきます。ひと工夫でおいしく体調管理をしましょう。

◆問い合わせ先…市役所保健課保健係(内線244)

編集後記

私は生まれながらの左利き。今まで生活してきた中で、何度も不便を感じたことがあります。ノーマライゼーションという言葉の知らないまちづくり推進フォーラムを取材して、「障害は人ではなく、周りの環境にある」という言葉にはすごく共感を覚えました。(北口)

第一中学校体育館で開催された全国太鼓フェスティバル。朝早くから長蛇の列ができ、慣れた人は座椅子やクッションなどを持って、準備万端という感じでした。演奏中は、手拍子やはやし言葉も入り会場が一つに。私も腹に響く太鼓に元気をもらいました。(田宮)